

もう一つはイギリス向けのTea Set(4C&S)



赤を基調にベルシャ風の花文を中心に豪華な文様がカップの内側にも描かれている。
飲むほどに徐々に文様が現れてきて楽しく 紅茶が楽しめます。

おっとところでこれでコーヒー飲むのも又OKだと思えます。(爆)

三番目はChocolate Setです。特徴ですがPotは比較的背が高いものが多い。

・PotのSpout(口)のノズルは殆どなく蓋がある。(細いノズルだとココアのようなものは出にくいからと考えている)

・ミルクとシュガー入れがない。

・C&Sは比較的口が狭い細長いカップが多いようです。又イギリス向けには私は見かけたことはありません。といった感じでしょうか。当時の広告をみると…



こんな特徴のセットですが、お馴染みのRC印のポビーのChocolate Setです。これも同じく六角のC&Sです。
RCの物の特徴で白生地をしっかりと出している色白の美人です。(爆)

さて最後はAfter Dinner Coffee Setと呼ばれているものです。特徴ですが…

・Potは比較的背が高いものが多い。

・PotのSpout(口)のノズルは長く蓋がある。

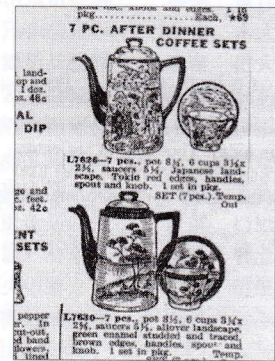
・ミルクとシュガー入れがない。(ものが多い)

・C&SはDemiタイプの比較的口が狭い細長いカップが多いようだ。

といった感じでしょうか。After Dinnerということ、小さなカップにブラックで飲んだと思われます。

(クリーマーとシュガーポットがないのもそのためだともいます。)

当時のAds(広告)にも宣伝が載っています。



ということで、まずはジオパターンの文様のセットです。MapleLeafです。



以上、4つの似たような飲み物のセットについての話でした。

実はこの種のものはもとのセットがバラで売られていることも多く、どのような組み合わせで売られていたかを知るのも重要な情報になる。

このあたりは又機会があったらお話してみたいと思っています。この記事の内容は当時のカタログやJ.V.Patten女史の著書や私のコレクション経験に基づくものです。保証するものではありませんが皆さんがコレクションする際にお役に立てば幸いです。